



「同時性」の良さ

校長 齊藤 浩雄

子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。感染拡大が心配される中でしたが、3年ぶりに行動制限のない夏休みでした。夏休み中、地域の皆様にはラジオ体操や子供たちの見守り、地域のパトロールなど大変お世話になりました。子供たちは夏休みを経て、一回り成長して学校に戻ってきました。これも家庭や地域の皆様のおかげと厚くお礼申し上げます。

ここ数年ネット通販の利用者の増加や感染対策などのneedもあり需要で宅配便の利用者が増加しているそうです。宅配利用者の中には、受け取りを指定した数時間さえ時間を人に合わせることを嫌う人がいて、コンビニ指定や宅配ボックスなど時間を気にせず荷物を受け取る利用者が増えているそうです。あるビジネス書によると、複数の人間が同じ時間を共有する状態を「同時性」と言い、その同時性を解消すれば各自の時間を価値あることに使えるとのこと。ビジネスでは効率性や利便性が重要とされ、結果、人に合わせることで使われる時間をいかに省くかが仕事の成果につながるということでした。今は当たり前になっているオンライン会議やオンライン授業も移動する時間が省かれ、効率性から言えば有効な方法です。ただ、同時性だからこそそのいいこともたくさんあります。以前私の住む地域では、夏休みのラジオ体操をCDの音源を使って、多くの子供が集まりやすい時間に始めたことがあったそうです。さらに遅れてくる子などがいたため、結局、6時半に始まる「ラジオ」に戻したそうです。ばたばたしていても同じ時間にスタートして、遅れてきた子は急いで走ってくる。途中から参加する子もいる。それでも以前より集まりが良くなったそうです。本校でもこの夏休み、青少年東十条地区委員会の皆様のお力で3年ぶりにラジオ体操の集いが行われました。子供からお年寄りまで一緒にラジオ体操をするその短い時間ですが、とても素敵な時間に感じました。

また、非効率な方がかえって楽しいこともあります。例えば自由研究で昆虫の生態を調べるという場合、効率だけを考えたら、ペットショップでカブトムシを買って、スマホで写真を取り、検索アプリで調べた内容をまとめたらそれが一番効率のよい方法です。でも、本当に楽しいことは友達と一緒に採れるかどうか分からないのに、森に仕掛けをして、実際にとれた昆虫を絵にかいたり、実際にどんなものを食べるのかを試したり、昆虫の本を探したり、そういう風になら

っていくことが本当の楽しさだと思います。7月31日から2日間、日光高原学園で6年生と一緒に過ごしました。友達と協力し合い助け合い、そして笑い合い同時性の素晴らしさを感じながら生活した2日間でした。コロナ禍、人との距離をとることが求められた数年でした。ただ、これからも感染対策を継続しながら、学校は子供たちに同時性の良さや素晴らしさを体験させる場であり、様々な学習や遊びの中で友達と一緒に試行錯誤し、たくさんの失敗を経験しながら成長できる場でありたいと考えています。

日	曜	校庭開放	9月の行事等
1	木		水曜時程 全校朝会 校門挨拶(3年) 生活振り返り週間始 東小防災週間①始 避難訓練 短縮時程
2	金		短縮時程
3	土		
4	日	○	生活振り返り週間終 委員会⑤ 夏休み作品展始
5	月		
6	火		
7	水		4時間授業(4年3組以外) 東小防災週間①終
8	木		社会科見学(6年)
9	金		短縮時程 水泳指導終
10	土		土曜時程 土曜授業⑤(公開なし) スクールコンサート 映画会
11	日	○	
12	月		全校朝会 発育測定(1年) なかよし班③ クラブ⑤
13	火		発育測定(2年)
14	水		4時間授業
15	木		脊柱側弯検診(5年及び対象者)
16	金		短縮時程 発育測定(5年)
17	土		
18	日	○	
19	月	○	敬老の日
20	火		与論盟約記念日・集会 岩井自然体験教室事前健診(5年)
21	水		水曜時程 発育測定(3年) 岩井自然体験教室①
22	木		発育測定(4年) 岩井自然体験教室②
23	金	○	秋分の日 岩井自然体験教室③
24	土		
25	日	○	
26	月		全校朝会 発育測定(6年) 5年振替休業日
27	火		スポーツコンダクター授業(5・6年)
28	水		4時間授業 学校ファミリーの日
29	木		短縮時程
30	金		水曜時程 音楽朝会

※夏休み作品展につきましては別紙にてご確認ください。



「最高の2日間」

6年2組担任 豊田 裕美

7月31日(日)、8月1日(月)の2日間、6年生は日光高原学園に行ってきました。

1日目は、日光東照宮、華厳の滝、日光自然博物館へ行きました。事前の学習で、それぞれが追究したい課題を決めて、それを解決するために熱心に話を聞いたり見学したりする様子が見られました。夜は、お楽しみのナイトハイク。東京では味わえないような、非日常体験ができました。

2日目は、奥日光の自然の中をハイキングしました。天気にも恵まれ、自然を観察しながら、気持ちのよい時間を過ごすことができました。お土産物屋さんでは、決められたお小遣いの中で家族や自分へのお土産を楽しそうに選んでいました。

日光の豊かな自然の中で、貴重な経験をし、友達と友情を深めた2日間。最高学年の集団としての意識も高まってきました。今後の学校生活での活躍を大いに期待しています。



「夏と言えば……」

水泳担当 中島 正皓

「夏」から連想するものと言えば何でしょうか。プールと答える子どもも少なくないでしょう。今年度は授業に加え、夏休み中の水泳教室も実施でき、たくさんの子が参加してくれました。私も小学生の頃は、夏の暑さから逃げるように毎日小学校の水泳教室に行っていました。当時は、一般開放のような形で、時間の中での出入りも自由であったため、友達と遊びに行く感覚だったのを覚えています。

小学校で水泳指導が本格的に行われたのは、1955年の学習指導要領に記載されてからです。当時は、水辺での事故が多発しており、それを防ぐ意味合いが大きかったようです。確かに、昨年度まで水泳指導が実施できなかったせいか、水に慣れていない子供たちが例年より多くいたように感じました。そのため、どの学年も水遊びの時間を多く取り入れながらゆっくりと指導をしています。高学年、中学年に関しては、それに加え水辺での安全指導も行いました。

水泳には、水難事故防止だけでなく、次のような成長に関する様々なメリットがあります。

- ①全身を鍛え、姿勢の向上につながる。
- ②水圧下での運動により、心肺機能が高まる。
- ③血液循環や呼吸器系が活性化する。
- ④冷たい水により自律神経の働きが高まり、病気になりづらい丈夫な体づくりにつながる。
- ⑤浮力により、陸上ではできない多様な動きができ、神経系の発達を促す。

水泳は、子供から大人まで、幅広い方々に親しまれている生涯スポーツの一つです。保護者の方々も、ぜひお子様と一緒に楽しんでください。



【生活指導】 今月の生活目標「きまりよい生活をしよう」

生活指導主任 長嶋 真理

夏休みが終わり、子供たちは久しぶりに会った友達と笑顔で声をかけ合っていました。これからの学校生活でも、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めてまいります。体調管理等、ご協力をお願いいたします。

今月の生活目標は、「きまりよい生活をしよう」です。夏休みのリズムから学校生活のリズムへと整えていきたいと思っております。「見つめよう生活カード」の取り組みにご協力をお願いいたします。

9月1日からは、東小防災週間が始まります。「防災ノート」を使って災害について学習します。ご家庭でも防災について話題にいただけると幸いです。